

図書館から

新しい本が入りました

羅針

榎 周平 / 著

小説

荒ぶる昭和の海に生きた男の物語。男の矜持を描き、親子の絆を問う、骨太の物語。



なぜ日本は破綻寸前なのに円高なのか

藤巻 健史 / 著

一般書

日本は財政破綻寸前で、大震災も経験したのに、どうして今こんなに円が強いのか。今は「嵐の前の静けさ」なのか。



炎路を行く者

上橋 菜穂子 / 作

児童書

ヒュウゴはなぜ、祖国を滅ぼした男に仕えることになったのか。バルサの過酷な思春期。「守り人」読者待望の作品集です。



くねっぷ保育園 楽しいチューブ滑りで歓声が響く

くねっぷ保育園のチューブ滑りが2月8日、レクリエーション公園スキー場で行われました。

園児は、冷たい風を顔に受けても元気よく歓声を上げ、大きなタイヤチューブなどに乗って勢いよく滑り、冬を思う存分楽しんでいました。

鬼をやっつけろー

幼稚園・保育園で豆まき

訓子府幼稚園



くねっぷ保育園



節分にちなみ、訓子府幼稚園の豆まきが2月2日、くねっぷ保育園では2月3日に行われました。この行事には父母も協力し、鬼の衣装を身に着け登場。園児は一斉に豆をぶつけ「鬼は外」と叫んだり、泣きながら逃げ回ったりしていました。

ひと足早く幼稚園・小学校生活を体験



訓子府幼稚園

訓子府幼稚園の一日入園が、2月7日に行われました。

4月に新しく入園予定の4歳児36人が参加し、父母とゲームなどで遊んだあと、4月から入る予定の教室に入って過ごすなど、幼稚園気分を楽しんでいました。

幼稚園36人・居小2人

居武士小学校



居武士小学校の一日入学が、2月8日に行われました。

4月に入学するのは女子2人です。現在の1年生と体育館でゲームをして遊んだあと、一緒に教室で授業を受けるなど、少し早く小学校生活を体験しました。

約40人がゴールめざす



町民スキー大会

第44回町民スキー大会が、好天に恵まれた2月19日、町営スキー場で開かれました。

大回転競技に幼稚園児から小学生6年生までの男女合わせて約40人が参加しました。参加者は、勢いよくスタートを切り、雪煙を上げながら旗門を通過し、ゴールをめざしていました。

熱戦を展開 オホーツク玉入れ大会

第10回オホーツク玉入れ選手権大会が2月19日スポーツセンターで開かれました。町内をはじめ、北見市、美幌町、置戸町などからジュニア10チーム、一般32チームが参加。身長より高いかに高いバスケットをめがけ、1チーム4人から6人の選手が100個の玉を投げ入れる速さを競い、会場内は熱気に包まれました。一般の部では、ジャージーズ(訓子府町)が優勝、また、ジュニアの部では上とこころ銀河(北見市)が優勝しました。

